

## 審 議 会 会 議 録

|                     |                                                                                                                             |        |    |
|---------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|----|
| 会議名称                | 平成29年度 第1回伊達市立図書館運営協力会                                                                                                      |        |    |
| 議 題                 | (1)会長及び副会長選出について<br>(2)伊達市立図書館運営協力会の目的及びこれまでの取組について<br>(3)伊達市立図書館の概要について<br>(4)今後の開催日程及び議題について<br>(5)伊達市小中学生読書感想文第2次審査員について |        |    |
| 開催日時                | 平成29年9月1日(金) 15時00分～16時20分                                                                                                  |        |    |
| 場 所                 | 伊達市立図書館 2階 視聴覚室                                                                                                             |        |    |
| 出席委員                | 本多 正機 委員    小倉 敬 委員    万代 淳 委員<br>佐々木 剛 委員    坪 美幸 委員    吉田めぐみ 委員<br>宇野千代子 委員    諏訪 厚 委員    (計8名)                           |        |    |
|                     | 所管部課名                                                                                                                       | 教育部図書館 |    |
| 公開<br>非公開<br>の<br>別 | <input checked="" type="checkbox"/> 公開                                                                                      | 傍聴者の人数 | 0名 |
|                     | <input type="checkbox"/> 非公開                                                                                                | 非公開の理由 |    |

**【会議の概要】**

1. 開会 (事務局：図書館長)
2. 教育長挨拶
3. 各委員及び事務局自己紹介
4. 議題
  - (1) 会長及び副会長選出について  
 【会長に本多委員、副会長に小林委員が選出】
  - (2) 伊達市立図書館運営協力会の目的及びこれまでの取組について
  - (3) 伊達市立図書館の概要について  
 【(2)と(3)を一括して資料に基づき事務局が説明、質疑応答は別紙のとおり】
  - (4) 今後の開催日程及び議題について  
 【事務局より案を提示、案のとおりで議決(質疑応答なし)】
  - (5) 伊達市小中学生読書感想文第2次審査員について  
 【事務局より資料に沿って説明(質疑応答なし)】
5. その他  
 【会議録作成について事務局に一任することを確認】
6. 閉会

【別紙（議題(2)・(3)に係る質疑応答）】

委員A：類似市町村と比較しても、伊達は蔵書数と図書資料購入予算が著しく少ない。“歴史文化のまち伊達”としてはここをもう少し頑張ってもらいたい。「予算が少ない」ということを図書館職員が外部にアナウンスできるわけがないので、我々がこの問題に対する活動を行わなければいけない。施設が新しくなると利用者は増える、利用者が増えると貸出も増える。ぜひとも増改築に取り組んでほしい。

委員B：地域文庫事業で使用する図書は蔵書数に含まれているのか。また、図書貸出数・貸出期間などのルールはどうなっているのか。

事務局：含まれていない。5か所で地域文庫を開設しているが、開設している団体がそれぞれ貸出時間などを設定している。

委員A：地域文庫はどこにあるのか。

事務局：黄金地区コミュニティーセンターはまなす館で黄金地域文庫、宮前福祉会館で中央区第14自治会地域文庫、長和地区コミュニティーセンターふれあい館で長和地区地域文庫、伊達駅前団地で伊達駅前地域文庫、大滝区では市営ほのぼの団地内でほのぼの団地地域文庫がそれぞれ開設している。

委員A：地域文庫の図書は寄贈図書で構成されているのか。

事務局：寄贈本で、蔵書本と重複しているものなどを地域文庫に充てている。

委員C：厳しいことをいうようだが、統計上貸出率では健闘しているとはいっても数値的には他の自治体に劣る。施設が古いことと少子高齢化の影響はわかるが、現状において平成28年度の反省を踏まえた平成29年度の活動方針が今回の資料では示されていない。その点を図書館としてどのようにお考えか。

事務局：新規事業の実施には至っていないが、館内表示の更新や展示物の見直しW P行っている。

委員C：館内の雰囲気が変わった気がする。地道な活動を行っているという理解でよろしいか。

事務局：わかりやすい掲示を心がけている。

委員D：築年数が古い登別も登録者数が多いなど健闘している。施設が古いなりに利用者増に取り組んでいる事例を参考に、伊達に足りない部分を模索してはどうか。網走も利用者数は伊達よりも多い数値になっている。

事務局：伊達は職員数も他館より少ない。職員数が多い館は、工夫を凝らした取組が展開できているものと分析している。

委員C：網走について利用者数は多いが貸出数が少ない。これは、貸出以外にも図書館の利用方法があるのか、また貸出に関して積極的ではないのか。どうということなのか。

委員A：利用者数のカウント方法は一律ではないのか。

事務局：今回は日本図書館協会の統計を基に北海道図書館振興協議会が作成した「北海道の図書館」の数値を引用している。伊達は、窓口で来館者数をカウントしているが、図書館と別の施設が併設されている場合もあるので来館者カウント数は一律ではないと思われる。

委員E：図書館の利用方法が変化している。先日東京の絵本図書館を訪問したが、滞在型の利用が多いと見受けられた。それが今後の図書館のあり方ではないか。

委員C：利用者が増えれば、図書を貸し出す工夫を凝らし、もっと貸出数を伸ばすべき。現在の伊達は登録者数が少ない割に貸出数では成績が良いと思う。貸出数だけが指標ではないが、貸出数が図書館利用実態の目安になると思う。

委員F：他の施設と併設されていれば立ち寄ることもあるが、単独の図書館は入りづらい。まして、玄関入ってすぐに窓口がある場所はなおさら入りづらい。老朽化の問題があるのであれば、利用者増を図るため他の施設との併設も検討すべき。

委員A：平成24年度に登別図書館の館長を招いて意見交換を行っている。どういう経緯だったのか。

事務局：公募により選出された館長だったからではないか。

委員E：登別の図書館は子どもの空間と大人の空間が分かれている。伊達は同一フロアなので、子どもの声を気にする保護者が多い。これはブックスタート時に母親と会話した際にも耳にする。また、図書館の場所すら知らない母親もいる。ブックスタートステップの参加率の低さも懸念される。大人の利用者を気にして、読書カードも作らずにそそくさと帰る母親も多い。

委員A：子どもの空間と大人の空間の分離はスペースの都合上難しい。

委員G：図書館の配置職員数に基準はあるのか。

事務局：指標はあるものの基準はない。

委員G：蔵書数に対し施設規模が小さいことが懸念される。かつては正面にも閲覧席があったが今は書架になっている。本を直接手に取って利用・貸出につなげたいのも理解するが、システム管理が進んだ今、開架にそこまでこだわらなくても良いと思う。借りる側も簡単に検索でき、貸す側も簡単に閉架書庫から本を取り出せるのではないか。読書空間の確保に力を入れるべき。

委員F：カルチャーセンターの新設に合わせて利用者数も増加している。利用者数の増減には周辺施設の影響もあるのではないか。

委員A：開架とスペースの問題など様々な検討課題がある。次回もこれらの件について議論を深めたいと思う。

